

2022 安全報告書

令和4年9月1日
西濃鉄道株式会社

1. はじめに

弊社はこれまでも全社員が「安全最優先」の認識を共有し、鉄道事業を通じて社会的使命を果たすべく日々努力を続けてきました。しかし、昨年7月中部運輸局の保安監査を受験した結果、16項目の改善指示を受けました。その項目に講じた改善策について、11月に報告を致しました。その取り組みの進行状況については、令和4年1月と7月に監査を受験した結果、現在では概ね指示事項について改善策を講じることが出来ました。

これを機に全社員一致結束し人命尊重、安全確保、規程遵守、執務の厳正等コンプライアンスの徹底を図り、一刻も早くお客様の信頼回復と社会に貢献できる会社に生まれ変わり、この認識を皆で共有し、「安全最優先」の職場風土の確立を目指します。

代表取締役社長 藤森 栄一

2. 安全の理念と安全行動指針

(1) 安全の理念：「安全は、鉄道事業の存立基盤である」

(2) 安全行動指針：「私は、人命を第一に考え、安全確保の主役となって、

常に正しい作業を実行します」

【鉄道安全】貨物列車に起因する旅客・公衆の人命に関わる事故・事象を撲滅する

【労働安全】死亡や重大な後遺症につながる労働災害を撲滅する

3. 四半期ごとの安全標語

- ・第1四半期：捨てよう過信 初心に帰って 安全作業
- ・第2四半期：「これくらい」 ちりも積もれば 大事故に
- ・第3四半期：ヒヤリハットで注意意識を向上させよう
- ・第4四半期：軽視せず 小さな要因 大きな災害

4. 重点実施項目

- (1) 安全最優先の職場風土作り
- (2) PDCAに基づく自律的な安全管理
- (3) 事故・事象の再発防止、未然防止
- (4) 労働災害防止策の強化
- (5) 安全を支える基盤の強化

5. 具体的な取り組み

(1) 安全最優先の職場風土作り

- ① 疑わしい時、危ないと思った時、必ず列車、車両を止めます。
- ② 安全に確信が持てない時は遠慮無く申し出て、確認してから作業を開始します。
- ③ ルールが設けられている意図（理由）を正しく理解し、必ず守ります。
- ④ 部署ごとに、安全に関する情報を共有する機会を毎月設けます。

(2) PDCAに基づく自律的な安全管理

今年度は以下の3項目を主要テーマとし、現業部門全体と各部署の2つのレベルで、PDCAサイクルに基づいて推進します。

- ① 巡回、通告、無線機操作等基本業務の本来の目的を再認識し、適切に実行します。
- ② 目視確認は「眺める」のではなく「見て確証を得る」ことであると周知徹底します。
- ③ 異常時に備えた訓練を実施します。

(3) 事故・事象の再発防止、未然防止

- ①速やかに、正しく報告することに重点を置いて、異常時対策訓練を実施します。
- ②先輩社員が先頭に立ち、ヒヤリハットの体験を積極的に公開することで、多くの社員がこれを有効活用できるようにします。
- ③他社の事故情報を周知することで、「明日は我が身」と捉え、自社に置き換えて同様の事故防止に役立てます。

(4) 労働災害防止策の強化

①現業部門全社員を対象として以下の教育訓練を実施します。

◆勉強会（年2回）5月：今年度の安全実行計画解説、個人目標発表、進路要求・確認方法確認、熱中症予防、他社事故情報研究

7月：個人目標実施状況報告、PDCA実施状況報告、正しい報・連・相、線路保守作業時の対応、他社事故情報研究

◆ワークショップ（年3回）6月、10月、11月：自由課題

◆訓練会（年2回）10月：異常時対策訓練／12月：列車防護訓練、転てつ機鎖錠金具取扱

◆習熟度調べ（部署毎）年度未予定

◆他社事故情報提供（月1回）自社に置き換えて対策を話し合い、リスク管理に役立てる

◆熱中症予防対策 夏期（5月～10月）：水分補給予算確保（お茶・水・塩飴等）
作業用ヘルメット更新（通気性向上）

②触車事故防止については、上記①に盛り込み実施します。

(5) 安全を支える基盤の強化

- ・乙女坂駅構内1号分岐器全更换
- ・DE10型機関車（中古）購入
- ・1k440m（乙女坂1号分岐器）～1k930m（猿岩②号分岐器先）6本毎にPC枕木化実施
- ・矢橋4号踏切1番線北側約50m間は、オールPC枕木化実施
- ・矢橋4号踏切北側1番線約50m間の線路内アスファルト埋め込み化実施
- ・ホキ車（7両）の全般検査計画、機関区天井クレーン検査
- ・軌道修繕、除草作業等実施。旧昼飯線お勝山下（桜並木間）雑木伐採と除草実施
- ・ルールマスターによる軌道検測実施

【令和4年度の計画】

- ・乙女坂駅構内のPC枕木化（3本毎、4年下期）
- ・DD45型新型機関車搬入（6月28日）
- ・機関区トイレ水洗化（7月）
- ・ホキ車の全般検査計画（2000形式、8両）
- ・DE10-1251全般検査（10月）
- ・DD403重要部検査（8月）
- ・その他（月検査、列車検査、除草等）
- ・新造ホキ車18両投入済
- ・DE10-1251試運転（7月30日実施、8月1日から運用開始）

6. 安全を向上させる取り組み

前年度に引き続き、月4回程度技術指導員による保全係員の指導を実施。その他軌道修繕、除草等

7. 沿線の皆様との連携

今年も引き続き沿線の除草、樹木の枝伐採を適宜実施して環境整備を行ってまいります。
今後も、皆様のご意見を頂戴しながら、鉄道輸送の安全確保を図ってまいります。

8. お願い

この報告書へのご感想、弊社の安全への取り組みに関するご意見をお寄せください。